Exciting Sound & Visual On PC … novac

パソコンディスプレイ用
アナログ地上波テレビチューナー/ビデオ入力アダプタ
(アップスキャンコンバータ)

EntaVision LX

(エンタビジョン・エルエックス)

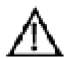
型番: NV-ET768L

ユーザーズマニュアル

User's Manual

Rev. 1.0 / 2003年12月

もくじ



【安全に正しくお使いいただくために】

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項に従って、正しく安全にお使いください。

警告・注意

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。製品には尖った部分があります。
  足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつかるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理して下さい。
- コネクタなどの接続や、ディスクなどの装着などには十分注意してください。インターフェースカードの接続部、コネクタやディスクの開閉部などには鋭利な部分があります。装着時の不用意なけがなどには十分注意して下さい。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 直射日光のあたる場所、強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。
  火災の恐れがあります。

感電・けが・失明の恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止して下さい。また、破損部分や内部には手など触れないようにして下さい。
- 分解しないで下さい。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所、水中などで使用しないで下さい。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管して下さい。

本書についてのご注意

１．本書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。
２．本書の内容につきましては万全を期して作成いたしておりますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。
３．本書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負い かねますのでご了承ください。

第 1 章　EntaVision LX について

このたびはEntaVision LXをお買い上げいただき、ありがとうございます。 本製品は液晶（LCD）やブラウン管（CRT）のパソコン用ディスプレイを、簡単な接続だけでテレビとして利用できる「パソコンディスプレイ用テレビチューナー/ビデオ入力アダプタ」です。
面倒なソフトウェアのインストールを行うことなく、パソコンディスプレイをテレビ放送はもちろん、ビデオデッキやDVDプレイヤー、ゲーム機などの外部機器のモニタとしても活用できる、多用途なマルチメディア機器です。

1.1　主な特徴

高解像度 XGA 出力: 解像度 1024×768 ドット・垂直同期周波数（リフレッシュレート）75Hz での出力に対応。ほとんどの 15 インチ液晶ディスプレイに最適な解像度で、高画質のテレビ視聴が可能です。

パソコンとテレビが同時に楽しめる PiP 機能: パソコン画面とテレビ画面の重ね合わせ表示が可能なピクチャ・イン・ピクチャ(PiP)機能を備えています。PiP 画面は任意の位置に移動可能です。

スピーカー内蔵: 本体にスピーカーを内蔵していますので、パソコンのオーディオ端子（サウンドカード）に接続しなくてもテレビの音声が楽しめます。

12 キー型赤外線リモコン同梱: チャンネルや音量の調整が、パソコンから離れていても可能です。全 VHF テレビ局をダイレクト選局できる 12 キー対応です。

縦置き・横置き両対応: 通常の横置きに加え、縦置き設置対応のスタンドが付属していますので、ディスプレイの横に置いても邪魔になりません。

豊富な外部インターフェース :コンポジット (RCA) 入出力、S ビデオ入力、音声入力端子を備えていますので、ビデオデッキ、DVD プレイヤーやゲーム機なども接続可能です。

1.2　動作条件

- 標準VGA出力端子（ミニD-Sub15ピン・メス）を持つパソコン本体（またはパソコンに取り付けられているビデオカード）
- SVGA（800×600ドット・水平周波数60Hz以上）以上の表示に対応し、かつ標準VGA入力コネクタ付きケーブル（パソコン側がミニD-Sub15ピン・オス）を備えたパソコン用ディスプレイ（モニタ）
- テレビアンテナ設備（またはCATVケーブル）
  - ※　OS（オペレーティングシステム）やCPU、メモリ容量などには一切依存しません。
  - ※　対応するパソコン本体（ビデオカード）およびディスプレイは、アナログRGBタイプのみです。デジタル出力のVGA端子（DVI、デジタルADCなど）には対応していません。
  - ※　音声多重放送（ステレオ／２重音声）には対応していません。
  - ※　ホームターミナル、STBなどを必要とするCATVチャンネルは受信できません。
  - ※　EntaVision LXは海外ではお使いになれません。

1.3　パッケージの内容

本製品のパッケージを開封したら、まず下の写真のような同梱品が含まれていることをご確認ください。



１. EntaVision LX (**本体**)

２. **縦置き用スタンド**

３. **赤外線リモコン送信機**

４. **単４乾電池**(**２本、赤外線リモコン用**)

５. AC**アダプタ**

６. VGA-In**（ループバック）ケーブル［ケーブル６］**

７. **コンポジットビデオケーブル［ケーブル７］**

８. **オーディオケーブル［ケーブル８］（外部機器接続用、２分岐**RCA**ピンプラグ**-**ステレオミニプラグ）**

９. **オーディオケーブル ［ケーブル９］（サウンドカード接続用、両端ともステレオミニプラグ）**

【その他の同梱物】

ユーザーズマニュアル(**本書**) / **保証書** / **ユーザー登録案内書など**

第 2 章　接続・設置手順

2.1　背面コネクタの配置



スイッチ/端子名	形状	用途
DC In	5mm 内部+ 外部-	ACアダプタを接続します。
Audio Out	3.5mm ステレオミニジャック	音声出力端子です。必要に応じて、オーディオケーブル（前ページ９．または市販品）でスピーカーまたはサウンドカードのラインイン端子に接続します。
Video Out	RCAピンジャック	EntaVision LXのテレビ映像を外部ビデオ機器に出力できる端子です。必要に応じて、コンポジットビデオケーブル（前ページ７．または市販品）でビデオ機器に接続します。
VGA Out	15ピン ミニD-Subジャック	パソコンディスプレイ側からのケーブルを接続します。
VGA In	8ピン ミニDINジャック	付属のVGA-In（ループバック）ケーブル（前ページ６．）で、パソコン（ビデオカード）のVGA端子に接続します。
RF	F型コネクタ	テレビアンテナまたはCATVケーブルを接続します。

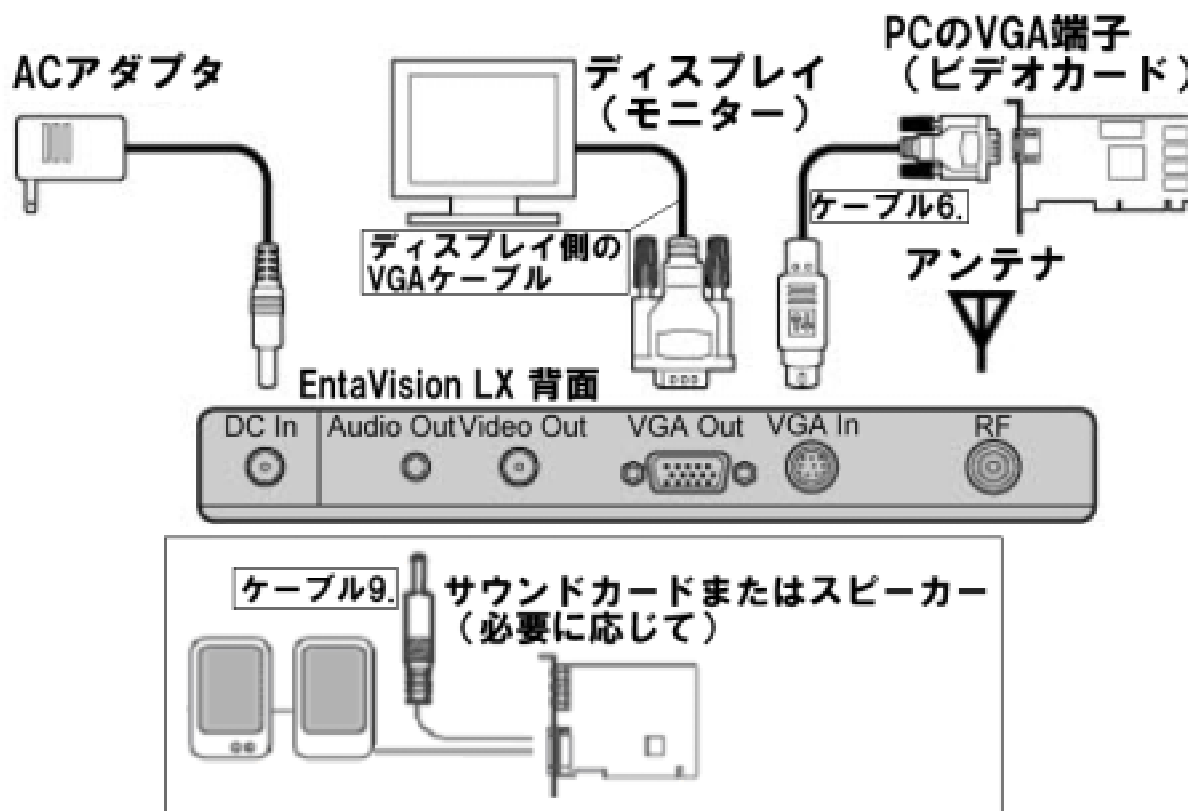
2.2　右側面コネクタの配置



スイッチ/端子名	形状	用途
Video In	RCAピンジャック	外部ビデオ機器からのビデオ出力（コンポジット）が接続できます。必要に応じて、コンポジットビデオケーブル（前ページ７．または市販品）でビデオ機器に接続します。
S-Video In	5ピン ミニDINジャック	Sビデオ出力対応の外部ビデオ機器を使用する場合は、ここに接続します。Sビデオケーブルは市販品をお使いください。
Audio In	3.5mm ステレオミニジャック	外部ビデオ機器などからのオーディオ出力を接続します。必要に応じて、オーディオケーブル（前ページ９．または市販品）で機器に接続します。

2.3　テレビを見るための接続

EntaVision LXを使ってお使いのパソコンディスプレイでテレビを見るには、パソコンおよびディスプレイの電源を切った上で、付属のケーブル類を使って、下記のように接続します。



本製品にはスピーカーが内蔵されていますので、パソコン本体（またはサウンドカード）のライン入力端子や外部スピーカーへの接続は必須ではありませんが、音質を重視される方はこれらの端子に接続することで、テレビ音声などをよりよい音でお楽しみいただけます。

接続の順序はどの端子が先でも構いませんが、ACアダプタだけは他の接続がすべて完了してから、必ず最後に接続してください。
接続が完了したら、パソコンとEntaVision LX本体の電源を入れてください。

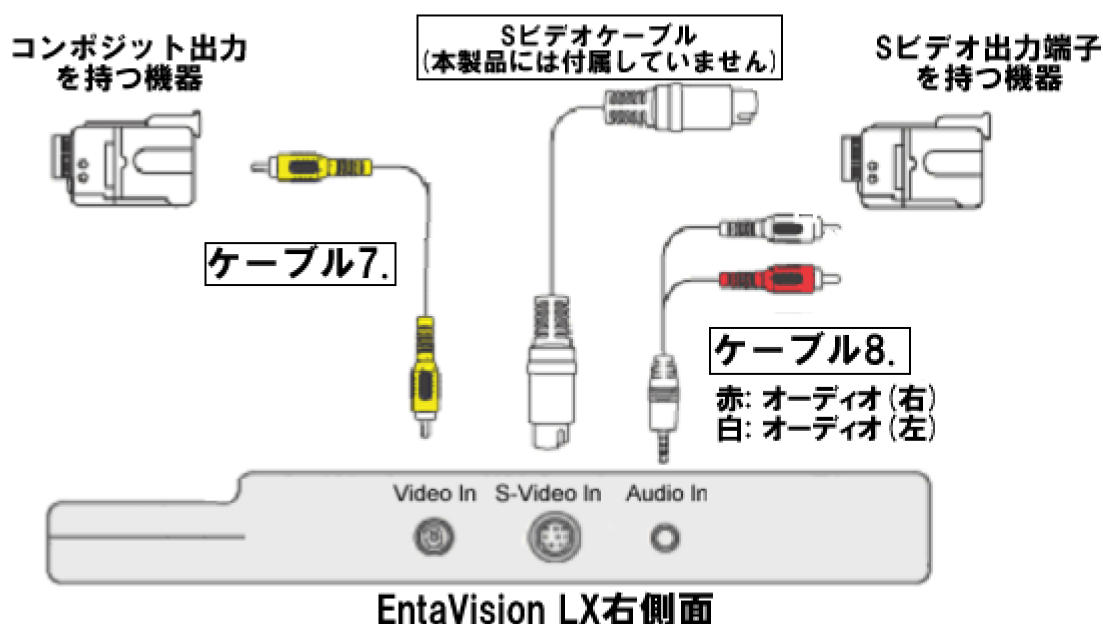
※　MacintoshおよびMacintosh用アナログディスプレイ（モニタ）で使用する場合など、外部機器の端子の形状によっては、プラグアダプタや変換コネクタなどの必要な場合があります。本製品に付属しないプラグアダプタ類は、必要に応じて、別途お求めください。

※　テレビアンテナ接続用のF型接栓や同軸アンテナケーブル/フィーダー線は本製品に付属していません。必要に応じて、別途お求めください。

※　ACアダプタを接続した直後、本体のスピーカーから一瞬「ザー」という雑音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

2.4 外部入力の接続

EntaVision LXを使って、外部のビデオ機器（ビデオデッキ、ゲーム機など）からの映像・音声をお使いのパソコンディスプレイで視聴するには、パソコンおよびディスプレイの電源を切った上で、付属のケーブル類を使って、下記のように接続します。

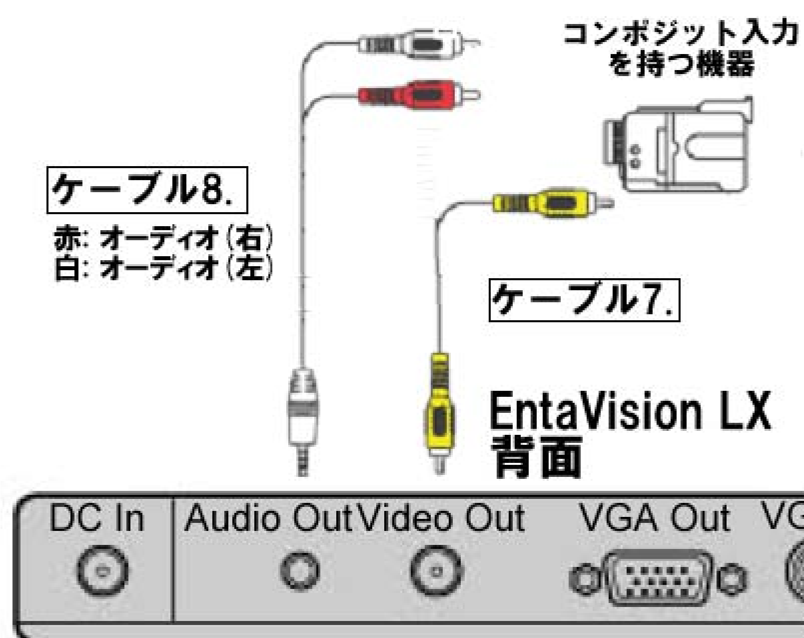


※ 本製品の音声入力は1系統です。コンポジット・Sビデオともにお使いの場合は、オーディオケーブル（ケーブル8.）をお使いになるほうの機器に、切り替える都度差し替えてください。

※ ケーブル8.はEntaVision LX側がステレオミニプラグ、外部のビデオ機器側がRCAピンプラグになっています。機器側の音声出力端子がステレオミニプラグの場合は、ケーブル9.、または両端がステレオミニプラグの市販のケーブルをお使いください。

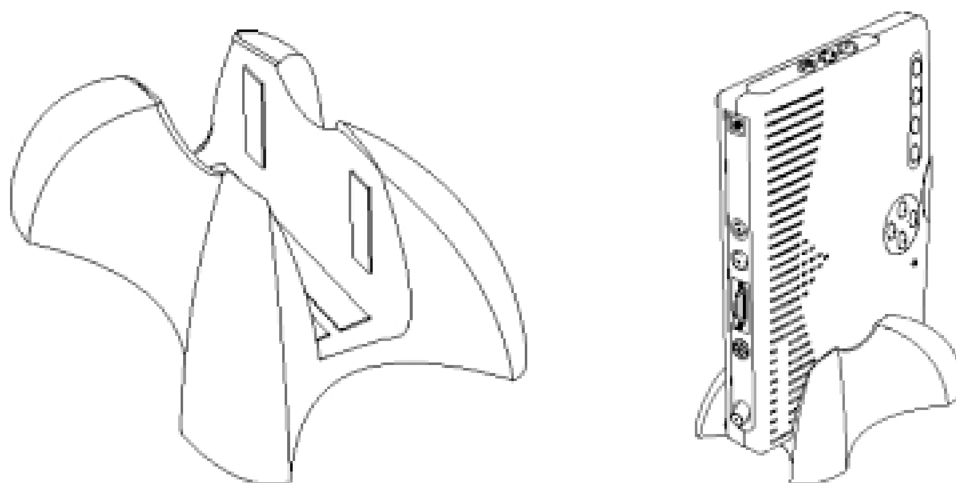
2.5 外部出力の接続

EntaVision LXには外部ビデオ出力端子があり、テレビ映像・音声などを外部のビデオ機器に接続することができます。テレビチューナーを持っていないビデオムービーカメラ、ビデオキャプチャ機器などでテレビ番組を録画するのに便利です。
付属のケーブル類（ケーブルを他の用途で使用中の場合は市販のケーブル）を使って、右図のように接続します。



2.6　縦置きスタンド

EntaVision LXは、横置きのほか、付属の縦置きスタンド（下図左）を使って縦置きに設置（下図右）することができます。机の上のスペースに余裕がない場合などに便利です。



縦置きスタンドをお使いになる場合は、上図右のように入力端子のある側（右側面）が上になるように設置してください。

第 3 章　EntaVision LX の使い方

ここではEntaVision LX**の使い方をご説明します。**

3.1　　パソコン側の解像度の設定

EntaVision LX**は、テレビ画面などをディスプレイ（モニタ）いっぱいに映し出す「フルスクリーン（全画面）表示」に加え、テレビ画面をパソコン画面**（VGA**画面）の端に小さなウィンドウで映し出す「ピクチャー・イン・ピクチャー（PiP）表示（3.5章参照）」にも対応しています。**

フルスクリーンでのみお使いになる場合は、パソコン画面の解像度やリフレッシュレートは基本的に不問です。
PiP**表示を利用するには、パソコン側の解像度・リフレッシュレートを必ずXGAサイズ以下、リフレッシュレート75Hz以下に設定してください。**

Windows**で解像度とリフレッシュレートを変更する手順は、下記の通りです。**

1) **デスクトップ（画面）上の空き領域（アイコンなどがない部分）をマウスで右クリックし、「プロパティ」を選択します。**



2) **右のような画面が開きます。まず、解像度を確認し、**1024×768**ピクセル（ドット）を超える解像度が設定されている場合は、**1024×768**ピクセルまたはそれ以下に設定します。**
次に、[**詳細**]**ボタンをクリックします。**

3) **右のようなウィンドウが開きますので、「モニタ」を選んでリフレッシュレートを確認してください。通常、「最適」が選択されていますが、**2)**で**1024×768**以下に設定しているのに画面が乱れる場合は、「**75**ヘルツ」より下になるように選択し直してください。**

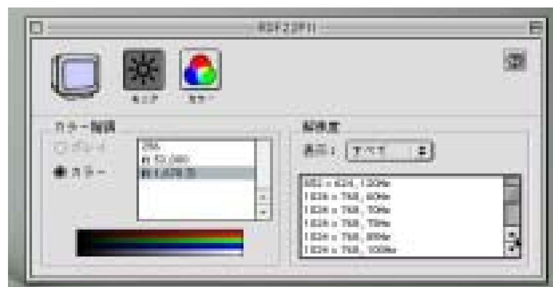
4) 3)**の画面で**[OK]**をクリックすると、**3)**の画面は閉じます。**

5) 2)**の画面に戻って、**[OK]**をクリックします。**
これで新しい設定が適用されます。
※ Windows Me**や**95/98**などでは、再起動が必要になることがあります。**

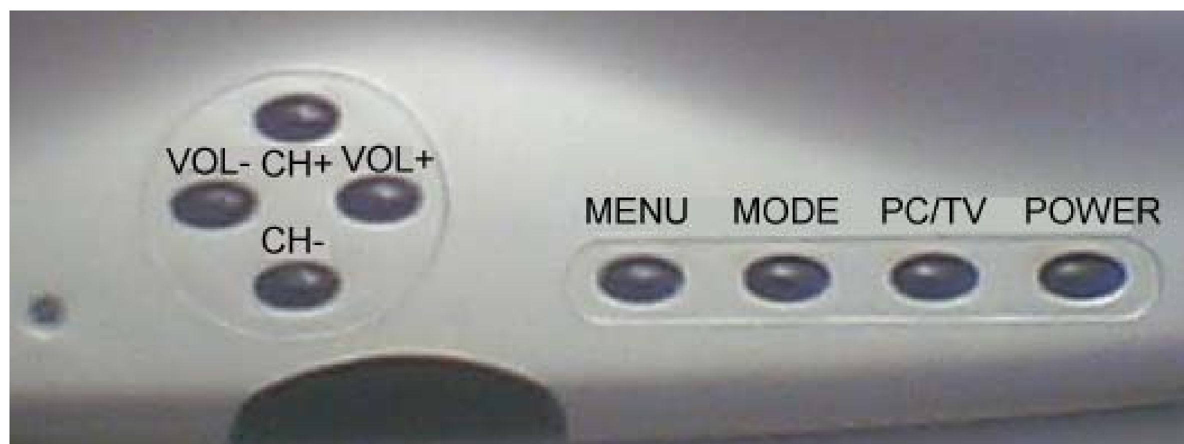
Macintoshの場合は、

1) アップルメニュー – [コントロールパネル]で「モニタ＆サウンド」を選択します。

2) 解像度を選択します。「1024×768、75Hz」またはそれ以下の解像度とリフレッシュレートの組み合わせがない場合は、「表示: 推奨」をクリックして「推奨」の代わりに「すべて」を選択してから、もう一度目的の解像度を探します。



3.2 本体側ボタンの使い方



通常状態（メニュー表示中を除く）

ボタン	用途
POWER	EntaVision LXの電源の入/切
PC/TV	表示モードの切り替え フルスクリーンコンポジット表示→フルスクリーンSビデオ表示→フルスクリーンテレビ表示→パソコン表示→PiPテレビ表示の順に連続して切り替えます。
MODE	【フルスクリーン通常時】ディスプレイのサイズ、仕様に合わせてオーバーレイモードを変更します。 【フルスクリーンメニュー表示時】メニューを１階層ずつ閉じます。 【PiP時】PiPウィンドウのサイズを２段階に切り替えます。
MENU	メニューに入ります。
CH＋	次のテレビチャンネルへ
CH－	前のテレビチャンネルへ
VOL＋	音量増
VOL－	音量減

メニュー表示中（MENUボタンでメインメニューを表示します）

ボタン	用途
CH＋	上のメニュー項目へ
CH－	下のメニュー項目へ
VOL＋	右のメニュー項目へ／（設定値のある項目選択中）設定値増
VOL－	左のメニュー項目へ／（設定値のある項目選択中）設定値減
MENU	メニュー項目の選択
MODE	メニューを閉じます。

3.3　リモコン

EntaVision LXのリモコンは、本体よりも多くのボタンを提供し、本体のボタン操作よりも便利にお使いいただけるようにデザインされています。
初めてお使いになる前に、リモコンの裏面にある電池蓋を開け、付属の単４乾電池（２本）を入れておいてください。

※　乾電池の極性（＋／－）を間違えると故障の原因になります。ご注意ください。



【EntaVision LX 赤外線リモコン ボタンの名称と使い方】

1. 電源 入/切
2. 消音（ミュート）
3. PC/TV
4. PICTURE
5. MODE
6. SOUND
7. SYSTEM
8. MULTI-DISPLAY
9. PIP
10. TV/AV
11. EXIT

使用しません

12. CH+
13. CH-
14. VOL-
15. VOL+
16. MENU
17. SLEEP
18. OSD
19. SKIP
20. RECALL
21. 数字ボタン（1～12）

1. **Power: 電源を入/切します。**
2. **消音（ミュート）: 一時的に消音し、もう一度押すと消音を解除します。**
3. **PC/TV: パソコン画面と** TV **画面を切り替えます。**
4. **PICTURE: 「画質」サブメニューを開き、画質の調整を行います。**
5. **MODE:**
   【フルスクリーン時】ディスプレイのサイズ、仕様に合わせてオーバーレイ解像度とリフレッシュレート（800x600/60Hz・75Hz・85Hz、1024x768/60Hz・75Hz）**を変更します。**
   【PiP 時】PiP **ウィンドウのサイズを２段階に切り替えます。**
6. **SOUND: 「音声」サブメニューを開き、音声に関する調整を行います。**
7. **SYSTEM: 「設定」サブメニューを開きます。**
8. **MULTI-DISPLAY: 「画面分割」サブメニューを開き、画面分割表示の分割数を選択して分割表示を実行します。**
9. **PIP: パソコンのデスクトップデスクトップ画面に** TV **画面を表示する、**PiP**（ピクチャ・イン・ピクチャ）表示を行います。**
10. **TV/AV:** TV **画面でテレビ受信とビデオ入力を切り替えます。**
11. **EXIT: 各設定画面を終了します。**MENU **については一度押すと画面を閉じます。**PICTURE、SOUND、SYSTEM、MULTI-DISPLAY **については一度押すと前のメニュー画面に戻ります。**
12. **CH+: チャンネルを昇順**（1,2,3…）**に移動します。自動チャンネル探索実行後は、検出されたチャンネルのみ選局できます。**
13. **CH-: チャンネルを降順**（12,11,10…）**に移動します。自動チャンネル探索実行後は、検出されたチャンネルのみ選局できます。**
14. **VOL+: 音量を上げます。各メニュー項目ではこのキーで設定値を高くします。**
15. **VOL-: 音量を下げます。各メニュー項目ではこのキーで設定値を低くします。**
16. **MENU:**
    【フルスクリーン時】メインメニューを表示し、選択した項目のサブメニューを開きます。
    【PiP時】1**度押しでチャンネル番号を数秒間表示し、**2**度押しで**VOL+/VOL-/CH+/CH-**ボタンによる**PiP**ウィンドウの表示位置の変更が可能です。**
17. **SLEEP: スリープ**（EntaVision LX**の電源を自動的に切る）機能でスリープが行われるまでの時間を設定します。**15**分間隔で**60**分まで設定でき、**0**ではスリープ機能が無効となります。**
18. **OSD: 現在の出力解像度と入力モードの種類、チャンネル番号（テレビ受信中のみ）を数秒間表示します。**
19. **SKIP: テレビ受信時に、あるチャンネルを** CH+/CH-**で選局できないようにしたい場合に、目的のチャンネルを選局した状態でこのボタンを押すと、次回から** CH+/CH-**で選局されないようになります。**
20. **RECALL: 直前に見ていたチャンネルを呼び出します。**
21. **数字ボタン: テレビのチャンネル番号（またはラジオの周波数）を直接入力して、選局できます。**1〜12 **チャンネルは直接選局できます。**13 **チャンネル以上を選局するには、たとえば 24 チャンネルなら数字ボタンを 2→4 のように押します。**

3.4　メニュー画面の使い方

EntaVision LXでは、各種の設定をテレビ画面上で行うことのできるメニュー画面を提供しています。



メニューは階層構成で、本体またはリモコンのMENUボタンによって呼び出すことができ、CH+/CH-キーを使って項目を上下し、目的の項目に移動したらもう一度MENUボタンを押すことでサブメニューに移動できます。

・ 選択したメニュー項目によってはサブメニューが出ず、メニュー内や画面下部に横帯が出て、VOL+/VOL-キーなどにより設定値の変更ができる場合があります。



・ リモコンのEXITボタン、または本体のMODEボタンを押すたびに１つ上の階層のメニューに戻ります。
・ メニュー表示を消すには、メインメニューに戻った状態でリモコンのEXITボタン、または本体のMODEボタンを押します。
・ メニュー表示は、本体またはリモコンのボタンを最後に操作してから、８～10秒程度で自動的に消えます。

メインメニュー



項目（サブメニュー）名	ボタン	内容
画質	PICTURE	画面
音声	SOUND	コントラスト（明暗）を調整します。
設定	SYSTEM	色の濃さを調整します。
画面分割	MULTI-DISPLAY	色の鮮やかさを調整します。
オンスクリーン		表示言語とメニューの表示位置を設定します。

画質サブメニュー



項目名	操作	ボタン	内容
明るさ	MENU→ VOL+/VOL-		画面の明るさを調整します。
コントラスト	MENU→ VOL+/VOL-		画面のコントラスト（明暗比）を調整します。
色の濃さ	MENU→ VOL+/VOL-		色の濃さを調整します。

音声サブメニュー



項目名	操作	ボタン	内容
音量	MENU→ VOL+/VOL-	VOL+ /VOL-	音量を調整します。
バランス	MENU→ VOL+/VOL-		左右の音量バランスを調整します。
ラウドネス	MENU→ VOL+/VOL-		中低音部の強調の度合いを調整します。
低音	MENU→ VOL+/VOL-		低音部の度合いを調整します。
高音	MENU→ VOL+/VOL-		高音部の度合いを調整します。

設定サブメニュー



項目名	操作	ボタン	内容
PAL NTSC 自動	VOL+/VOL- →MENU		放送方式を切り替えます。日本国内では必ず「自動」または「NTSC」を選択してください。
解像度	MENU→解像度一覧→MENU	MODE	ディスプレイへの出力解像度とリフレッシュレート（800x600/60Hz・75Hz・85Hz、1024x768/60Hz・75Hz）を設定します。 本体またはリモコンのMODEボタンを使うと、メニューを表示させずに切り替えが可能です。

チャンネル微調整	MENU→VOL+/VOL-		表示中のテレビチャンネルの周波数微調整（ファインチューニング）を行います。 VOL+/VOL-ボタンでメニューを抜け､画面下部に横帯と周波数が表示され､微調整操作が可能となります｡VOL+/VOL-ボタンから手を離すと数秒後に横帯が消え、設定が完了します。
自動チャンネル探索	MENU		受信可能なテレビチャンネルを自動的に探索し、CH+/CH-ボタンによる選局を可能にします。
ANT CATV	VOL+/VOL-→MENU		アンテナ入力とケーブルテレビ（CATV）のケーブル入力を切り替えます。 アンテナ入力とケーブル入力では､13チャンネル以上で受信できるチャンネルが異なります。1〜12チャンネルはどちらでも同一です。
スキップ	MENU	SKIP	自動チャンネル探索によって登録されたチャンネルのうち､普段見ないチャンネルをCH+/CH-で選局できないようにすることができます｡スキップしたいチャンネルを選局してから､このサブメニューからスキップを実行してください。リモコンの「SKIP」ボタンでも同じ操作が可能です。

画面分割サブメニュー





項目名	操作	ボタン	内容
4/9/16/分割しない	CH+/CH-→MENU		画面を4/9/16分割して、CH+/CH-で選択可能なチャンネルの連続表示を実行します｡連続表示の実行中に目的のチャンネルでCH+/CH-ボタンを押すと､押したところで止まります。

オンスクリーンサブメニュー



項目名	操作	ボタン	内容
言語	MENU→ CH+/CH- →MENU		画面表示の言語を、ENGLISH（英語）／日本語から選択できます。
位置	MENU→ CH+/CH-/ VOL+/VOL-		メニューの表示位置を移動できます。

3.5　PiP表示の使い方

パソコン画面にテレビ画面を重ねて表示するPiP（ピクチャー・イン・ピクチャー）表示に切り替えるには、本体のPC/TVボタンをPiP表示になるまで繰り返し押すか、リモコンのPIPボタンを押します。
EntaVision LXのPiP表示は、本体またはリモコンのMODEボタンにより2種類のサイズ（画面の約1/4サイズ=標準=、約1/9サイズ）を選択することができます。
表示位置を変更することもできます。本体またはリモコンのMENUボタンの2度押しで、本体またはリモコンのVOL+/VOL-/CH+/CH-ボタンでPiPウィンドウの表示位置が変更できる状態になります。なお、この状態では音量の調整とチャンネルの切り替えはできなくなります。音量調整・チャンネル切り替えを有効にするには、もう一度MENUボタンを押してください。



第４章　Q&A

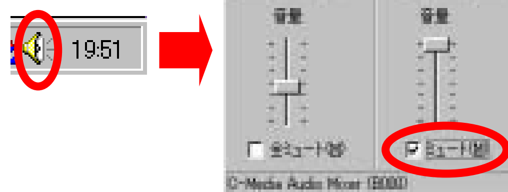
Q: EntaVision LXをパソコン側のライン入力に接続しましたが、電源を入れても音が出てきません。

A: **次のような原因が考えられます。**

1) EntaVision LX**のオーディオ出力がサウンドカード**(**またはパソコンに内蔵のサウンド機能**)**のライン入力**(Line-In)**端子に正しく接続されていない可能性があります。本製品に付属のオーディオケーブルで、**EntaVision LX**のオーディオ出力とサウンドカードのライン入力との間が、正しく接続されているかどうかを確認してください。**
各入出力端子が色分けされているサウンドカードでは、通常、ライン入力端子は水色の端子となります。
2) **サウンドカード**(**またはパソコンに内蔵のサウンド機能**)**のボリュームコントロールで、ライン入力がミュート**(**消音**=**無効状態**)**されている可能性があります。ボリュームコントロールを起動し、ミュートを外してください。**

Windows **標準のボリュームコントロールの場合は、下記の通りです。**

1) **タスクバー右端のボリュームアイコンをダブルクリックして、ボリュームコントロールを開きます。**
2) [**ミュート**]**にチェックが入っているかどうかを確認し、チェックされていれば解除します。**



ライン入力がないパソコンで、接続先としてマイク入力を用いる場合は、上の説明の「ライン入力」「Line-In**」を「マイク入力」「**Mic**」と読み替えてください。**

Macintosh**の外部音声入力端子を用いる場合は、アップルメニュー**－[**コントロールパネル**]**で「モニタ＆サウンド」または「サウンド」を選択し、「サウンド入力」に「外部入力」を選択します。**





Q: テレビ画面の表示が上下左右にずれます。

A: EntaVision LX**からのフルスクリーン映像の表示がずれる場合は、ディスプレイ（モニタ）側の調整機能を用いて、表示位置の調整を行ってください。表示位置調整機能の表記はディスプレイのメーカーや機種によって異なりますが、一般に水平（左右）方向の調整は**H-PHASE**や**

H-POSITION、垂直（上下）方向の調整はV-PHASEやV-POSITIONといった名称になっている場合が多いようです。詳しくはお使いのディスプレイの取扱説明書などを参照してください。

ディスプレイの種類によっては、上下や左右に間延びして表示されることがありますが、この場合もディスプレイ側の調整機能（H-SIZE、V-SIZEなど）を用いて調整してください。

Q: EntaVision LXのACアダプタを抜くと、パソコンディスプレイの画面表示が出ません。

A: パソコンディスプレイとVGAの間にEntaVision LXが接続されている状態で、ACアダプタを抜くと、パソコンディスプレイの画面表示が出なくなります。主電源（背面）を切った状態でも、ACアダプタは電源コンセントとEntaVision LXのACアダプタ端子に接続したままお使いください。

Q: テレビの映りが悪かったり、画面にノイズが目立ったりします。

A: アンテナ端子にF型接栓でアンテナケーブル (またはCATVケーブル) がしっかり接続されているかどうか (緩んでいないかどうか) を確認してください。なお、アンテナケーブルはフィーダー線(300Ω)ではなく、外来ノイズに強い同軸ケーブル(75Ω)の使用をお勧めします。
弱電界(電波の弱い地域)での使用時や、１本のアンテナに数多くのテレビ・ビデオデッキなどを接続している場合は、アンテナとEntaVision LXのアンテナ端子の間にビデオブースター(電波増幅器)などを通過させる必要が生じることもあります。なお、ビデオブースターは家電店などでお求めになれます。
また、これはEntaVision LXに限らず、テレビ受像機器についての一般的な注意点ですが、画面にゴースト(影)が目立つ場合は、アンテナが送信所の方向に正しく向けられて設置されているかどうかを確認してください。

Q: 「自動チャンネル探索」を実行すると、実際にはないはずのチャンネルがいくつか登録されてしまいました。

A: 主に通常のアンテナ（CATVでなく）でテレビを受信している場合、自動チャンネル探索によって、実際に放送のないはずのUHFのいくつかのチャンネルで電波を拾うことがあり、CH+/CH-ボタンで選局される状態になります。
このような場合は、スキップ機能を使うことで、チャンネルの削除が可能です。

1) 削除したいチャンネルにセットします。
2) リモコンのSKIPボタンを押します。下のような画面が表示されます。



3) リモコンまたは本体のMENUボタンを押します。

製品保証／ユーザーサポートについて

保証書

・ この製品には保証書が添付されています。
・ 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。お買い上げ店とご購入日の記入がない場合は、お買い上げ票（レシート）を必ず一緒に保存してください。
・ 保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
調子が悪いときはまずこの説明書をもう一度ご覧になって調べてください。
それでも具合の悪い場合はサービスへ
ノバックサポートセンターあるいはお買い上げ店にご相談ください。
修理をお申込の場合は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本製品およびマニュアルに対するお問い合わせは、下記へお願いいたします。

住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷3-38-1 本郷イシワタビル5F
株式会社ノバック サポートセンター
サポート専用電話 ： （03）3817ー0938
受付時間 : 月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
e-mail : users@novac.co.jp

＊ お問い合わせに先立ち、まずこのマニュアルをもう一度ご覧になってください。また弊社のWebサイト (ホームページ) にアクセスしていただくと、製品の最新情報やFAQなどがご覧いただけますので、ご利用ください。
株式会社ノバック WebサイトURL: http://www.novac.co.jp/
＊ お問い合わせの際には、お使いになっているパソコンの機種名/環境、不具合状況などを詳しくお教えください (下記のお問い合わせ項目表をご参照ください) 。
＊ 電話がかかりにくい場合は、e-mailでお問い合わせください。
＊ e-mailでのお問い合わせは、翌営業日以降の回答とさせて頂きます。
＊ e-mailや電話で重複してお問い合わせの場合は、その旨お知らせいただければ幸いです。

ユーザーサポートへのお問い合わせにあたっては、次の各項目を事前にご確認いただき、e-mailまたは電話にてお問い合わせください。

●お問い合わせのノバック製品情報	
製品名	EntaVision LX (エンタビジョン・エルエックス)
型番	NV-ET768L
シリアル番号	
ご購入日（だいたいでも構いません）	
●お客様の情報	
お名前	
ご連絡先	
●ご使用環境	
パソコン (またはマザーボード) の メーカー・製品名	
型番	
OS	
併用しているディスプレイ	
併用しているビデオカード	
●お問い合わせの内容（できるだけ詳しく教えてください）	
例えば、どんな操作をして、どんな症状が起こるかなど…	

MEMO



製造元: Active Development Co., Ltd.
発売元: **株式会社ノバック**